

# Wise FAXNET 2010.1

発行:株式会社ワイズ  
ワイズ公共データシステム(株)  
連絡先:TEL.0269-65-4710 FAX.0269-65-4745  
[URL] <http://www.wise.co.jp/>

送信枚数 1枚

## < 新 気になるよそ様の数値 - 負債回転期間 (X2) - >

負債抵抗力指標は、純支払利息比率(X1)と負債回転期間(X2)のふたつの指標になっています。今回は負債回転期間(X2)です。計算式は以下の通りです。

$$\text{負債回転期間(X2)} = (\text{流動負債} + \text{固定負債}) / (\text{売上高} \div 12)$$

この指標は、期末における負債総額が月商の何ヵ月分になるかを示す指標です。低いほど負債の支払能力があると考えられ、低いほどよい点数になります。上限値は0.9で、下限値は18.0です。Y点への寄与度は11.4%で、比較的高くなっています。旧経審では、安定性の指標として、有利子負債月商倍率(X8)が採用されていました。計算対象が有利子負債のみから負債全体に広がったことに特徴があります。そこで、決算期末において有利子負債になるかどうかを心配する必要がなくなった反面、負債はすべて悪であり、全ての負債を小さくしなくてはならないという状況になりました。旧経審では、仕入債務(支払手形、工事未払金、買掛金)や未成工事受入金は大きい方がよかったのですが、新経審では、小さい方がよいのです。

右のグラフは、負債回転期間(X2)の分布図です。旧経審の有利子負債月商倍率(X8)と同様に、財務内容が二極化している状況がよく分かります。

また、負債回転期間(X2)の全体の平均点が6.166になっています。平均点が一番いい階層は、完成工事高が5億以上10億未満の階層です。しかし、各階層で平均点の差があまりありません。純支払利息比率(X1)では、完成工事高が大きい会社ほど点数がよい傾向にあることを考え合わせると、小さい会社ほど負債に占める有利子負債の割合が高いのではないかと推察されます。

この指標は格差が大きくなっています。また、特に小さい会社でY評点のよい会社はこの指標でよい点数になっています。したがって、小さい会社ほど負債の圧縮戦略を研究する必要があります。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

旧経審

よい負債

仕入債務、未成工事受入金

悪い負債

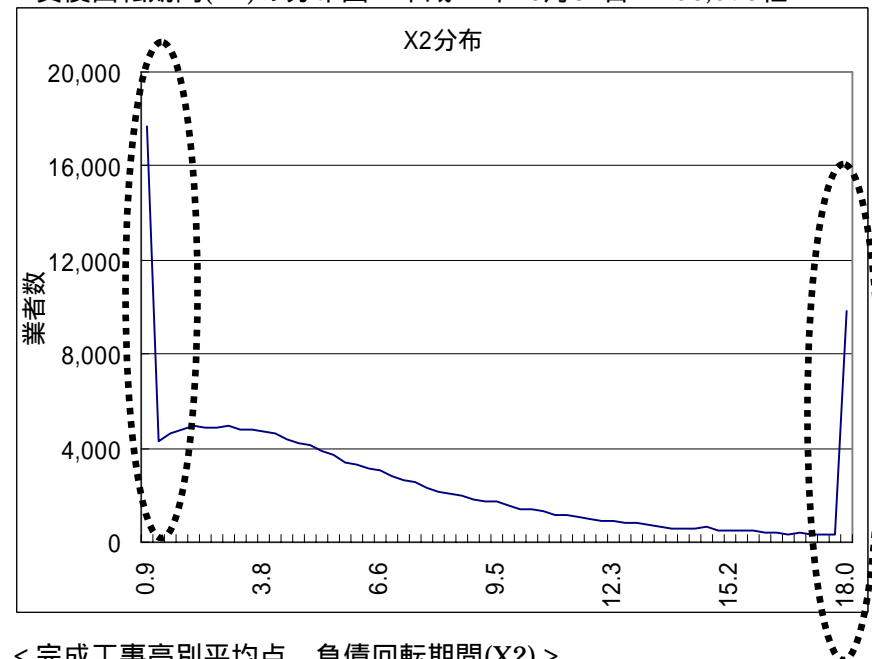
有利子負債

新経審

悪い負債

負債全体

< 負債回転期間(X2)の分布図 平成21年10月31日 156,978社 >



< 完成工事高別平均点 負債回転期間(X2) >

完成工事高	平成21年10月21日現在
全体	6.166
100億以上	6.178
50億以上	6.260
20億以上50億未満	6.017
10億以上20億未満	5.721
5億以上10億未満	5.473
1億以上5億未満	5.607
0.5億以上1億未満	6.277
0.5億未満	6.989

各階層であまり差はないが、完成工事高が小さい会社ほど有利子負債の割合が高いと推察。

送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)

今後「Wise FAXNET」送信不要

FAX送信はこちらまで 0269-65-4745

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名とご担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名

TEL

FAX